

SAMSUNG TECHWIN

超高解像度のWDRカメラ

取扱説明書

SCB-3000VP



超高解像度のWDRカメラ 取扱説明書

Copyright

©2011 Samsung Techwin Co., Ltd. All rights reserved.

商標について

 は Samsung Techwin Co., Ltd. の商標登録されたロゴです。
この製品の名称は Samsung Techwin Co., Ltd. の登録商標です。
このマニュアルに記載のその他の商標はそれぞれの会社の登録商標です。

制約について

本取扱説明書に記載される取扱説明は著作権法で保護されています。
従って Samsung Techwin 社の了解なしに著作権法で許される範囲の複写を除き、取扱説明書の一部あるいは全部の複写及び複製は禁じられています。

免責事項について

Samsung Techwin は取扱説明書の完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するものではありません。この取扱説明書の使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うこととなります。本仕様は製品の性能向上のために事前予告なしで変更されることがあります。

このカメラを操作する前に、カメラのモデルおよび供給電源方式が正しいことを確認してください。

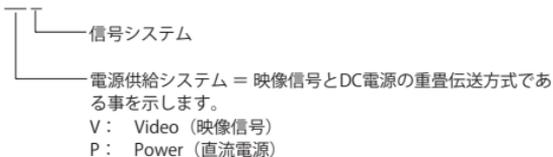
このマニュアルの理解を助けるため、モデルの表記について説明します。

■ SCB-3000VPN

- NTSCモデル
SCB-3000VPN

■ モデルの表記

- SCB-3000VPN



- 信号システム
N → NTSCモデル

概要

	注意 感電の危険性あり 開けないでください	
注意: 感電のリスクを避けるため、カバー(または裏面)を取り外さないでください。指定部品以外は使用できません。修理については、資格のあるサービススタッフにお問い合わせください。		



この記号は、本製品には感電する恐れのある高圧電流が存在することを示しています。



この記号は、本製品の操作およびメンテナンスに関する重要な付属説明書があることを示しています。

警告

- 火災や感電の恐れがあります。製品を雨や湿気に晒さないでください。
- 損傷を防止するため、本製品を設置説明に従って床壁にしっかりと取り付けてください。

警告

1. 必ず仕様書で指定されている標準アダプタのみを使用してください。他のアダプタを使用すると、火災、感電、製品の故障の原因になります。
2. 電源コードを誤って接続したり、バッテリーの取替えを誤ると爆発、火災、感電、製品の故障の原因になります。
3. 1つのアダプタに複数のカメラを接続しないでください。許容能力を超えると異常な発熱や火災の原因になります。
4. 電源コードを電源コンセントにしっかりと差し込んでください。接続が完全でないと火災の原因になることがあります。
5. メラを設置する際、安全にしっかりと固定してください。カメラの落下は人身傷害の原因になります。
6. カメラの上に伝導体(例: スクリュードライバ、硬貨、貴金属など)や水の入った容器を置かないでください。火災、感電、物体の落下に起因する人身傷害を招くことがあります。

4_ 概要

7. 本製品を湿気や埃、すずのある場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
8. 異臭や発煙が発生したら、製品の使用を中止してください。このような場合にはただちに電源をオフにして、サービスセンターにお問い合わせください。このような状態で使用し続けると、火災や感電の原因となります。
9. 本製品が正常に動作しない場合は、お近くのサービスセンターにお問い合わせください。本製品は絶対に分解または改造しないでください。(サムスン社は未許可の改造や修理ミスに起因する問題に対して責任を負いません)
10. お手入れの際、製品のパーツに直接水を噴霧しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

注意

1. 製品に物を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。過度の振動や磁器妨害のある場所に近づけないでください。
2. 高温(50° C以上)、低温(-10° C以下)、高湿度の場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
3. 一度取り付けた製品を移動する場合には、電源がオフになっていることを確認してから移動あるいは設置し直してください。
4. 雷雨のときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。この作業を怠ると製品の発火や損傷の原因になります。
5. K直射日光や放熱源に近づけないでください。火災の原因となります。
6. 通気性のいい場所に設置してください。
7. CCDイメージセンサーに損傷を与える可能性があるため太陽のような極度に明るい物体にカメラを直接向けないようにしてください。
8. 機材に液体をこぼしたりかけたりせず、また瓶のように液体が入った物体を機材の上に載せたりしないでください。
9. 分離可能な電源プラグを利用し、いつでも利用できるように用意されています。
10. カメラを屋外で使用すると、屋内と屋外で温度差が生じるためカメラ内に結露が発生する可能性があります。このため、カメラは屋内に設置することをお勧めします。屋外でご使用になる場合は、ファンやヒーターを内蔵したカメラをご使用ください。

概要

FCC(連邦通信委員会)声明

本製品はFCC規則第15章に適合しています。操作は以下の2つの条件を前提とします。

- 1) 本製品が有害な電波妨害を引き起こさないこと。
- 2) 本製品は不適切な操作に起因する電波妨害を含む如何なる電波妨害も受け入れなければならない。

注意

本製品は、FCC規則第15章に定められたクラスAデジタル装置に関する規制要件にもとづいて所定の試験が実施され、これに適合するものとして認定されています。これらの規制要件は装置が商用環境で使用される際に有害な電波妨害に対する適切な保護を提供するために考案されました。

本製品は電磁波を発生し、外部に放射することがあります。取扱説明書に従って設置、使用しないと無線通信の有害な電波妨害を引き起こす恐れがあります。住宅地域における本製品の使用によって有害な電波妨害を引き起こすことがあり、その場合ユーザーは自己負担で電波妨害の問題を解決しなければなりません。

重要な安全ガイド

1. 本書の説明をよく読んでください。
2. 本書の指示を守ってください。
3. すべての警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. 本製品を水のそばで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布のみを使用して行ってください。
7. 換気口は塞がないようにしてください。メーカーの指示に従って取り付けてください。
8. ラジエータ、熱レジスタ、あるいは熱を発するその他の装置（アンプなど）などの熱源のそばに設置しないでください。
9. メーカーが指定する付属品のみを使用してください。
10. カート、スタンド、三脚、ブラケットはメーカー指定のもの、あるいは製品と一緒に販売されたもののみを使用してください。カートを使用する場合、カートと製品を動かす際には転倒による損傷に注意してください。
11. 雷雨のときまたは長期間使用しない場合は、カメラコントローラの電源プラグを抜いてください。
12. すべての修理は資格のあるサービススタッフに任せてください。電源コードまたはプラグが損傷した、装置内に液体がこぼれた、あるいは異物が混入した、製品を雨または湿気に曝した、正常に動作しない、あるいは落としたなど、装置になんらかの損傷を与えた場合は、修理を依頼してください。

目次

はじめに	9	特徴
	10	キット内容
	11	部品の名称および機能
	14	レンズ
接続	20	RS-485インタフェースによる制御
	19	
カメラの操作	22	メニュー設定
	22	メニューの設定
	22	
トラブルシューティング	41	トラブルシューティング
	41	
仕様	43	仕様
	43	

はじめに

特徴

- **高解像度**
このカメラは、6 mm (1/3インチ) の410Kピクセルの倍密度CCDを採用することにより、カラーでは600 TVライン、白黒では700 TVラインの水平解像度を持つ鮮明な画質を提供します。
- **高感度**
内蔵の高感度カラーCCDが鮮明な画像を提供します。
-カラー: 0.3 ルックス(SOIRE,@F1.2), 白黒: 0.01 ルックス(SOIRE,@F1.2)
- **インテリジェンス**
このカメラは、外部センサーの助けなしに新たな画像処理技術の導入により、物体の移動や静止物体の監視機能を高めます。また検知結果はアラーム信号として外部機器を駆動する事が可能です。
- **SSNR3 (Samsungスーパーノイズリダクション) 機能**
高性能なSV-V DSPチップは、暗い光源での利得ノイズと残像を効果的に解消して、暗い環境でも鮮明な画像を提供します。
- **昼/夜 (ICRフィルター切替方式)**
このカメラには、昼間または夜間の環境に適したモードを自動的に選択する機能があります。
- **SSDR (Samsungスーパーダイナミックレンジ)**
逆光のように難しい光源状態であるために明るいエリアと暗いエリアの間でコントラストが強い画像の場合、明るい方のエリアでは同じレベルを保持しながら、暗いエリアを明るくすることで全体的な明るさを均等にします。
- **PROFILE**
カメラの設置条件に応じて最適なプロファイル (用途に合わせて各機能のデフォルト値の設定を登録しているモード) を選択できます。
- BASIC, DAYNIGHT, 逆光補正, ITS, 室内, USER
- **WDR**
このカメラは、独自のSV-V DSPチップを採用し、特殊なCCDと組み合わせ、露光速度を高速と従来速度とに分けてスキャンすることができます。これにより屋内と屋外の様に明暗差が非常に大きな被写体をも、同時に見える機能を提供します。
- **VPS(仮想プログレッシブスキャン)**
従来は、DVRに高解像度モード (垂直解像度を480本) で録画した映像を、再生時に静止画として取り出そうとするとフィールド間の移動物体にブレが生じるインタレース方式特有の欠点を持っていました。これを解決する方式として新たに提案する仮想的なプログレッシブスキャンの録画機能を提供します。

はじめに

- **ビデオ/DCドライブレンズのサポート**
OSDの設定により、使用レンズに合わせて、オートアイリスをDCとVideoの各方式に合わせる事ができます。
- **DIS (デジタル揺すれ補正機能)**
強風などで発生するカメラの揺すれによる画面の揺れを補正し、安定した画像を提供します。
- **その他の機能**
HLC (ハイライト補正)、感度アップ、反転、D-ZOOM、鮮明度およびブライパシー機能等々、現場の環境に合わせて対応可能な豊富な機能を有します。
- **通信**
RS-485通信方式がサポートされています。
- RS-485通信 : SAMSUNG-T, SAMSUNG-E, PELCO-D, PELCO-P, BOSCH, HONEYWELL, VICON, PANASONIC, GE, AD
- **OSD**
OSD表示は多国語の中から選択することができます。
- 英語、韓国語、日本語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、台湾語

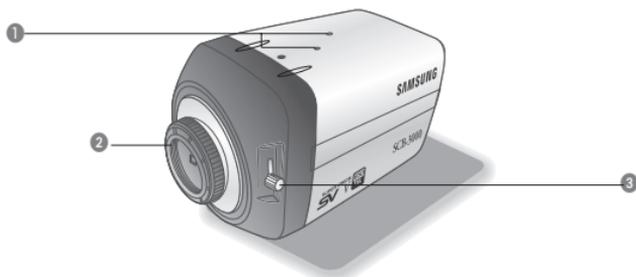
キット内容

製品パッケージに次のものが含まれていることを確認してください。

		
SCB-3000VP	取扱説明書	自動絞りレンズ用コネクタプラグ
		
Cマウント用アダプタ		

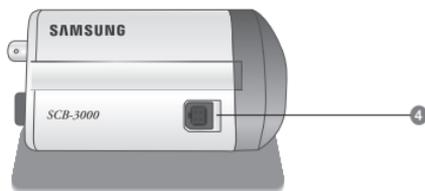
部品の名称および機能

前面



- ① 三脚取付けブラケットのネジ穴
三脚取付けブラケットをカメラの上部に固定するために使用します。
- ② Cマウント用レンズアダプタ
Cマウント用レンズを使用するためにこのアダプタを取り付けます。
- ③ フランジバックフォーカス調整レバー
このフランジバックフォーカス調整レバーによってフランジバックを調整します。

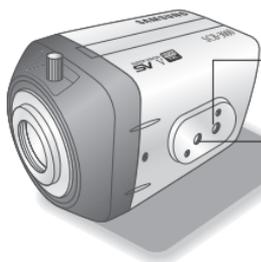
側面



- ④ 自動絞りレンズ用コネクタ
自動絞りレンズのプラグを接続するために使用します。

はじめに

底面図

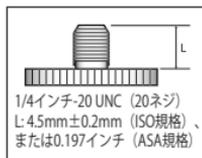


※ 片側の穴はネジ締めができません。

5 ※ ネジを締めるときは、ネジ締め部分をカメラモジュールに向けてください。

5 三脚取付けブラケットのネジ穴

カメラをブラケットまたは三脚に取り付けるために使用します。
この穴のネジサイズは次のとおりです。

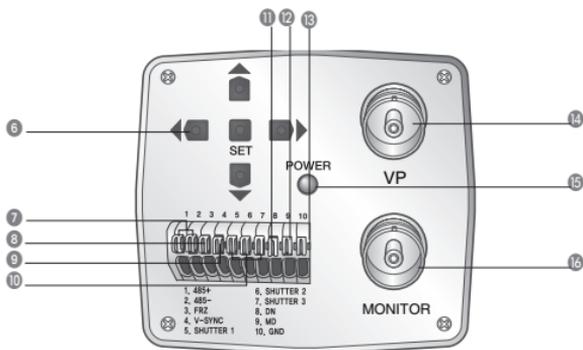


*三脚取付けブラケットを取り外し、カメラの上面または底面に取り付けます。カメラをブラケットまたは三脚に取り付ける際は、必ず三脚取付けブラケットを使用してください。うしないと、カメラが不安定になるか、カメラの内部回路が損傷する可能性があります。



■ 三脚はカメラには同梱されていません。カメラへの取付けについては、三脚取付け用のマニュアルを確認してください。

背面



⑥ 機能設定ボタン

- SETボタン: 画面にメニューを表示し、サブメニューにアクセスするために使用します。
- 上および下ボタン: メニュー画面でカーソルを上下に動かすために使用します。
- 左および右ボタン: メニュー画面でカーソルを左右に動かすために使用します。

⑦ RS-485制御ポート: このポートを介し、RS-485通信がサポートされているリモコンなどの外部コントローラを使用して、SETUPメニューを制御することができます。

⑧ フリーズモード設定端子: フリーズ機能をオンまたはオフにします。

⑨ V-SYNC入力端子: 外部同期で使用時にVD (垂直同期信号: 3Vp-p) を入力します。

⑩ シャッター速度選択端子: 外部からシャッター速度を切り替えて使用することができます。

	SHUTTER 1	SHUTTER 2	SHUTTER 3
1/60(1/50)	オフ	オフ	オフ
1/120(1/100)	オン	オフ	オフ
1/250	オフ	オン	オフ
1/500	オン	オン	オフ
1/700	オフ	オフ	オン
1/1000	オン	オフ	オン
1/1600	オフ	オン	オン
1/2500	オン	オン	オン

[インタレースモード]

はじめに

- ① D&N入力ポート:外部信号をこのポートに接続して、昼/夜モードを切り替えることができます。
- ② モーション検知出力ポート:モーション検知信号は、このポートから出力されます。
- ③ 接地端子
- ④ VP:ビデオと電源が同じ同軸ケーブルを使用(ビデオに電源を重畳)しますので、専用のカメラコントローラ(TBP-9L)のVP-IN端子に接続します。
- ⑤ 電源LED:このランプは、カメラに電源が供給されているときに点灯します。
- ⑥ MONITOR:カメラ調整用の映像出力端子です。設置時等にモニターに直接接続して画像を見る事ができます。但し、VP端子へのケーブルを接続すると出力回路が故障します。

※外部入出力ポート設定

番号	名前	入出力の方向
1	RS-485+	I/O
2	RS-485-	I/O
3	FRZ	I
4	V-SYNC	I
5-7	Shutter	I
8	DN	I
9	MD	O
10	GND	-



- FREEZEモード設定端子、シャッター速度選択端子およびD&N入力ポートを使用する際、各端子と接地端子を接続してください。

レンズ

レンズはこのカメラには同梱されていません。環境に適したレンズを購入してください。このカメラには、自動絞りレンズならびにCマウントおよびCSマウントレンズのいずれも取り付けることができます。

- このカメラの機能を効果的に使用するには、DCタイプの自動絞りレンズを使用することをお勧めします。
- レンズの表面を清潔に保ってください。ほこりや指紋で汚れると、画質に影響します。

自動絞りレンズの使用時

1. 自動絞りレンズケーブルの絶縁被覆を終端から8mmむき取ります。

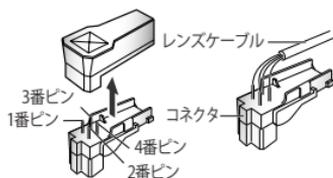


2. 自動絞りレンズケーブルのコアの絶縁被覆を2mmだけ露出するようにむき取ります。



3. 自動絞りレンズ用コネクタプラグのカバーを外し、レンズケーブルをプラグのコネクタピンにはんだ付けします。

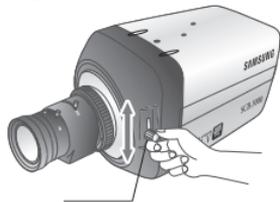
ピン番号	レンズ	
	DC	ビデオ
1番ピン	制動-	赤(電源)
2番ピン	制動+	NC
3番ピン	ドライブ+	白(ビデオ信号)
4番ピン	ドライブ-	黒(GND)



4. 自動絞りレンズ用コネクタプラグのカバーを元に戻し、CCD保護キャップを取り外し、自動絞りレンズを時計回りに回してカメラに固定します。



5. 自動レンズ用ケーブルに接続されているコネクタプラグを、カメラの側面にある自動絞りレンズ用コネクタに差し込みます。



フランジバックフォーカス調整レバー

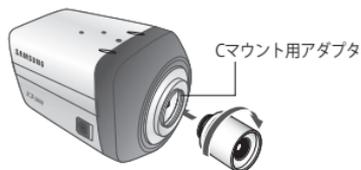
はじめに

C/CSマウントレンズの使用時

レンズを取り付ける前に、取り付けるレンズがCマウントかCSマウントかを識別します。このカメラはデフォルトではCSマウントレンズ用に設定されています。Cマウントレンズを取り付ける場合には、簡単な修正が必要です。

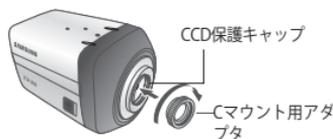
•CSマウントレンズの使用時

本製品のCCD保護キャップを取り外し、CSマウントレンズを時計回りに回して取り付けます。次に、CSマウントレンズを取り付けた後で、レンズの画角とフォーカス調整機構で画面調整を行います。レンズの画角に合わせてフォーカスが合わせられない時は、カメラ本体のフランジバックフォーカス調整レバーを使用して、カメラのフォーカスを設定します。

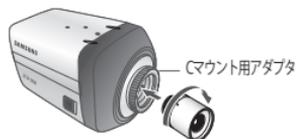


•Cマウントレンズの使用時

1. 本製品のCCD保護キャップを取り外し、Cマウント用アダプタを時計回りに回して取り付けます。

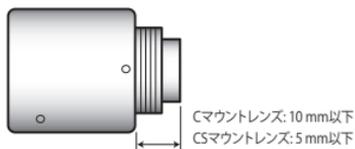


2. Cマウントレンズを右回りに回して取り付けます。



3. Cマウントレンズを取り付けた後で、レンズの画角とフォーカス調整機構で画面調整を行います。レンズの画角に合わせてフォーカスが合わせられない時は、カメラ本体のフランジバックフォーカス調整レバーを使用して、カメラのフォーカスを設定します。

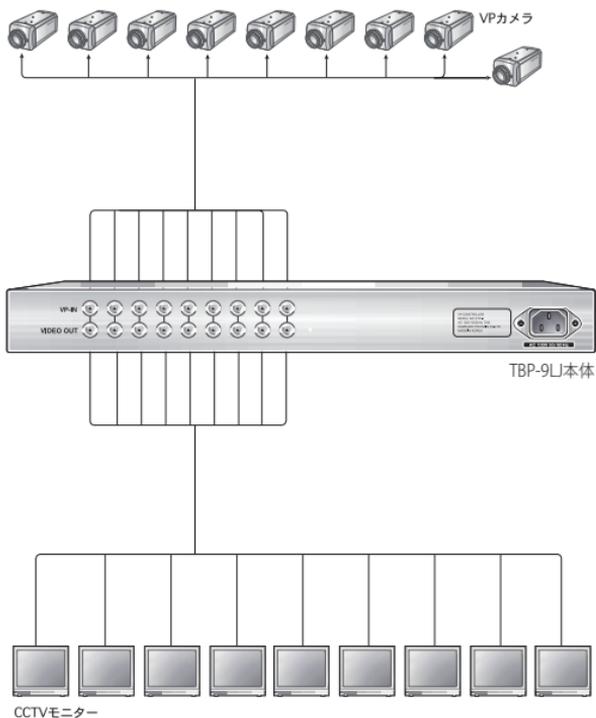
- 次の図に示すレンズを使用します。コネクタの寸法が正確でない場合、カメラが損傷するか、レンズがしっかり取り付けできない可能性があります。



- レンズが重すぎる場合、カメラのバランスが悪くなり、問題が起こる可能性があります。450g未満のレンズを使用してください。
- Videoオートアイリスレンズの自動レベル制御 (ALC) を調整する場合、使用可能であればAvモードを使用してください。Pkモードを使用すると、画像の明るさが絶えず変化する可能性があります。

はじめに

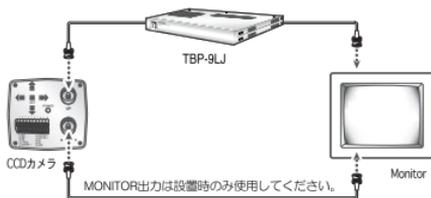
カメラコントローラー(電源供給装置、型名: TBP-9LJ)の接続



接続

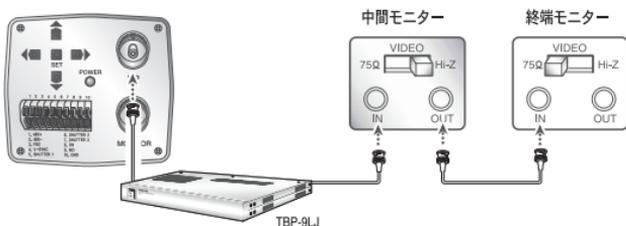
モニターとの接続

カメラの背面にあるビデオ出力端子をモニターに接続してください。



- ・接続する機器により接続方法が異なるため、接続機器の取扱説明書を参照ください。
- ・ケーブル接続は電源を切ってから行ってください。
- ・下図のように、中間のモニターの75Ω終端はHi-Zに、最終機器で終端します。

CCDカメラ



接続

高電圧電源重畳タイプ (DC27V+映像信号)



注1) 使用可能なケーブル長は、カメラの消費電流により異なります。下表を参照ください。

カメラ型式名	3C-2V使用時	補償スイッチ	5C-2V使用時	補償スイッチ
SCB-2000VP	最大 300 m	100m 以上で ON	最大 500 m	150m 以上で ON
SCD-2080EVP	最大 300 m		最大 500 m	
SCB-3000VP	最大 150 m		最大 300 m	
SHC-735VP	最大 150 m	ON	最大 300 m	ON

RS-485インタフェースによる制御

このカメラは、リモコン(RS-485通信)などの外部コントローラを使用してOSDの設定ができます。

(1) PCで制御する場合

RS-485コンバータを介して、カメラのRS-485制御ポートとシリアルケーブルを接続します。

例) PCシリアルポート (COM1) → シリアルケーブル

RS-485コンバータ → カメラのRS-485制御ポート

(2) DVRまたはシステムコントローラを使用して制御する場合

RS-485ケーブル (TRX+, TRX-) を、DVRまたはシステムコントローラに接続した485コントロールボードの接続ポートに接続します。

485コントロールボードの接続ポート	RS-485制御ポート
(+) 接続端子 (TRX+)	485+
(-) 接続端子 (TRX-)	485-

* RS-485通信設定初期値

項目	カメラID	ボーレート	UART モード	RET PKT
初期値	1	9600	8-NONE-1	有効

-  ■ 通信プロトコルは、SAMSUNG-T、SAMSUNG-E、PELCO-D、PELCO-P、BOSCH、HONEYWELL、VICON、PANASONIC、GE、および AD が使用可能です。

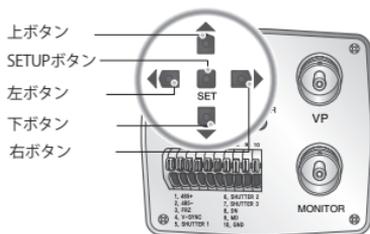
カメラの操作

メニュー設定

SETUPメニ			
レンズ	●DC	●VIDEO	●MANUAL
露出補正	●BRIGHTNESS ●SENS-UP	●SHUTTER ●戻る	●AGC
WHITE BAL	●ATW ●MANUAL	●室外 ●AWC-SET	●室内
逆光補正	●OFF ●SSDR	●USER BLC ●WDR	●HLC
SSNR3	●ON	●OFF	
DAY/NIGHT	●AUTO ●B/W	●EXTERN	●COLOR
PROFILE	●BASIC ●ITS	●DAYNIGHT ●室内	●逆光補正 ●USER
SPECIAL	●IMAGE機能 ●INTELLIGENCE ●COMM ADJ	●カメラTITLE ●PRIVACY ●LANGUAGE	●SYNC ●DIS ●戻る
EXIT	●SAVE	●NOT SAVE	●RESET

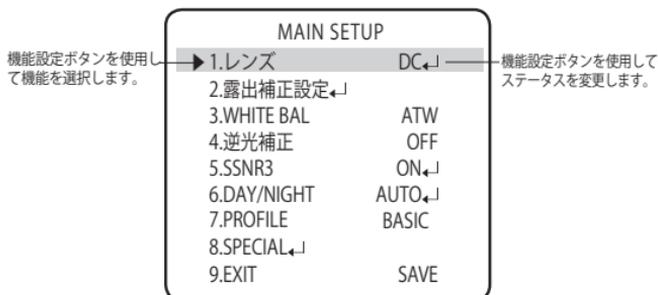
メニューの設定

カメラの機能設定ボタンを使用します。



- 機能設定ボタンを押します。
 - MAIN SETUPメニューがモニター画面に表示されます。

22_ カメラの操作



- 機能設定ボタンを使用して目的の機能を選択します。
 - 目的の項目の上にカーソルを置きます。
- 機能設定ボタンを使用して、選択した項目を設定します。
- 設定を終了するには、「EXIT」を選択してSET UPボタンを押します。

- ⚠
- ◀アイコンがある項目にはサブメニューもあります。サブメニューを選択するには、アイコンがある項目を選択し、SET UPボタンを押します。
 - --- アイコンが表示された項目は、その項目の設定ができない事を意味します。

レンズ

この機能を使用して、画面の明るさを調整できます。

- MAIN SETUPメニューの画面が表示されたら、矢印が“レンズ”を指すように機能設定ボタンを使用して、“レンズ”を選択します。
- 機能設定ボタンを使用して、取り付けるレンズのタイプを選択します。
 - DC/Video: 自動絞りレンズが選択されます。
DCレンズモードを選択した場合、ESCシャッターモードの最小および最大のシャッター値を調整できます。
 - Manual: 手動レンズが選択されます。
- 各レンズモードにはさらにサブメニューがあり、そのリストは次のとおりです。
 - Brightness (DC, Manual): 映像の明るさを調整します。
 - Level (VIDEO): ビデオ絞り信号のレベルを調整します。このレベルが高いほど映像が明るく表示されます。



カメラの操作

- FOCUS ADJ (DC, VIDEO) :
DCおよびVIDEOレンズのフォーカスを正しく調整するには、各レンズメニューで Focus Settingsモードを有効にする必要があります。Focus Settingモードを有効にするには、レンズのフォーカスを調整します。その後は、Focus Settingsモードを無効にします。(VIDEOレンズでは、Focus Settingsモードのサブメニューに移動し、シャッター速度を変更してレンズの輝度を調整するという追加のステップが必要です。)
- IRIS SPEED (DC) : DCレンズの絞り調整速度を調整します。調整速度が極端に遅いか速い場合に、このメニューを使用して調整します。



- VIDEOレンズを使用する場合、次に説明するレンズVRを最初に調整し、'FOCUS ADJ'メニューを使用してフォーカスを設定します。
- DCレンズを使用しているときにカラーローリングが発生する場合は、Shutterを---に設定します。
- BRIGHTNESS LEVELの設定によっては、正しく動作しないレンズもあります。
- Videoタイプの自動絞りレンズの使用時
 - ① レンズのALC調整端子を適宜調整します。通常、AV (平均) に設定します。
 - ② 取り付けたレンズには、正しく動作しないものもあります。レンズの水平VRを最適な値に設定します。
 - ③ AGCをOFFに設定し、レンズのVRを適切な明るさに調整します。
 - ④ レンズのVRを調整し、BRIGHTNESSを調整したら、画面の明るさが適切に変更されたか確認します。適切に変更されていない場合は、レンズのVRを再調整します。

露出補正

1. MAIN SETUPメニューの画面が表示されたら、矢印が'露出補正'を指すように機能設定ボタンを使用して、設定します。
2. 機能設定ボタンを使用して目的のモードを選択します。

MAIN SETUP	
1. レンズ	DC ◀
▶ 2. 露出補正設定 ◀	
3. WHITE BAL	ATW

- BRIGHTNESS: 映像の明るさを調整します。
- SHUTTER: シャッターを選択できます。
 - ESC: シャッター速度を自動的に調整する場合に、これを選択します。ESCを選択すると、物体の周囲の照明に応じてシャッター速度が自動的に調整されます。
 - MANUAL: シャッター速度を手動で調整できます。
(NTSCモデル - 1/60秒~1/120,000秒、PALモデル - 1/50秒~1/120,000秒)

EXPOSURE SETUP	
▶ 1. BRIGHTNESS	■■■■■■■■■■ 25
2. SHUTTER	ESC ◀
3. AGC	HIGH
4. SENS-UP	OFF
5. 戻る ◀	

- A.FLK: 画像がちらつく場合に、これを選択します。ちらつきは、設置された光源の周波数との不調和によって発生します。
- EXTERN: カメラの背面にあるシャッター速度選択端子を使用し、外部入力を介してシャッター速度を調整できます。端子と接地端子を接続することで、次の表に示すような目的の速度に調整できます。

	SHUTTER 1	SHUTTER 2	SHUTTER 3
1/60(1/50)	オフ	オフ	オフ
1/120(1/100)	オン	オフ	オフ
1/250	オフ	オン	オフ
1/500	オン	オン	オフ
1/700	オフ	オフ	オン
1/1000	オン	オフ	オン
1/1600	オフ	オン	オン
1/2500	オン	オン	オン

[インタレースモード]

- --- : シャッター速度は1/60秒に固定されます。



- DCLレンズを使用しているときにカラーローリングが発生する場合は、SHUTTERのモードを---に設定します。
 - Internal Synchronization Typeを選択した後でSHUTTERをESCに設定すると、カメラが明るい蛍光灯を向いているときに、画像が不安定になる場合があります。このため、取付け位置は慎重に選択してください。
 - SHUTTERをMANUALまたはA.FLKモードに設定した場合、SENS-UPは無効になります。
 - 外部入力を使用する場合は、シャッター速度選択端子と接地端子を接続します。
- AGC(自動ゲイン調整):
ゲインレベルが高いほど、画面は明るくなりますが、その一方でノイズが増大します。
- オフ: AGC機能を無効にします。
- LOW: 5.3dB~32dBの自動利得調整を許可します。
- HIGH: 5.3dB~37dBの自動利得調整を許可します。
 - SENS-UP: このモードを有効にすると、夜間や暗いとき、メモリー上に画像を蓄積し、S/Nの改善を行い、鮮明な画像を作り出します。
- OFF: SENS-UP機能を無効にします。
- AUTO: SENS-UP機能を有効にします。

カメラの操作

- ⚠️ ■ SENS-UPをAUTOにしてサブメニューを開くと、SENS-UPの倍率(×2～×512)を設定することができます。
 - SENS-UPの蓄積倍率を大きくすると動画に対して残像が目立つようになります。
 - 蓄積倍率をあげるとSENS-UP動作により、ノイズ、斑点、および白っぽくなる症状が現れることがあります。これは正常な状態です。
 - 露出補正のGAINがOFFの時、SENS-UP(感度アップ)は“---”に設定されます。
- 戻る:露出設定メニューの内容を保存して、SETUPメニューに戻ります。

WHITE BAL (ホワイトバランス)

画面の色バランスを調整する場合は、White Balance機能を使用します。

1. SETUPメニュー画面を表示し、機能設定ボタンを使用して'WHITE BAL'を選択し、矢印が'WHITE BAL'を指すようにします。
2. 機能設定ボタンを使用して目的のモードを選択します。

MAIN SETUP	
1.レンズ	DC
2.露出補正設定	←
▶ 3.WHITE BAL	ATW
4.逆光補正	OFF

- ※ 目的に合わせて、次の5つのモードのいずれかを選択します。
- **ATW:** 画面の変化や照明の変化に合わせて、常に白バランスを自動調整する機能で、色温度が1700～1100°Kの範囲で使用可能です。
 - **室外:** ATW動作を屋外環境で使用する場合で、色温度が1,700° K～11,000° Kの場合に選択します。(ナトリウム光を含む)
物体を囲む環境の色温度が制御範囲から逸脱している場合に選択します。(晴天または夕方など)
 - **室内:** ATW動作を室内環境で使用する場合で、色温度が4,500° K～8,500° Kの場合に選択します。
 - **MANUAL:** ホワイトバランスを手動で微調整する場合に選択します。まず、ATWモードまたはAWCモードを使用して、ホワイトバランスを設定します。ボタンをMANUALモードにしたら、ホワイトバランスおよび機能設定ボタンを微調整します。
 - **AWC→SET:** 照明や画像の変化に関係なく、一定の白バランスを維持する機能で、カメラを白い紙の方に向けて機能設定ボタンを押します。環境が変わった場合は、再調整を行ってください。



- 次の条件では、ホワイトバランスが適切に機能しないことがあります。その場合は、室外モードを選択してください。

- ① 物体の周囲の照明が薄暗い場合
- ② カメラが蛍光灯に向いているか、照度が大きく変化する場所に設置されている場合には、ホワイトバランスの動作が不安定になることがあります。

逆光補正

SCB-3000VPは専用のSV-V DSPチップを搭載することで、物体が逆光に立っていても、物体と背景の両方をくっきりと撮影することができます。

1. SETUPメニュー画面を表示し、機能設定ボタンを使用して「逆光補正」を選択し、矢印が「逆光補正」を指すようにします。
2. カメラの目的に応じて、機能設定ボタンを使用して目的のモードを選択します。

MAIN SETUP	
1. レンズ	DC \downarrow
2. 露出補正設定 \downarrow	
3. WHITE BAL	ATW
▶ 4. 逆光補正	OFF
5. SSSNR3	ON \downarrow

- OFF: 使用されません。
- BLC: 画面内の枠エリアは、可変する事ができます。この時、枠エリア内が最も見やすい画像になる様に自動調整します。
 - LEVEL: 監視エリアの明るさのレベルを調整します。
 - TOP/BOTTOM/LEFT/RIGHT: 画面内の枠エリアを調整します。
- HLC (ハイライト補正): この機能は強い光をマスクすることで、露出オーバーによるホワイトアウトを最小限に押さえます。カメラを強い光源に向けたときに画面上の他の部分が暗くならない様に補正します。
 - LEVEL: 監視エリアの明るさのレベルを調整します。
 - LIMIT: 動作時間の条件を変更できます。
 - MASK COLOR/TONE: マスクしたエリアに対して、輝度と色彩を付加します。(黒、赤、青、シアン、マゼンタ)
 - TOP/BOTTOM/LEFT/RIGHT: 画面内の枠エリアを調整します。
- SSDR (Samsung Super Dynamic Range): この機能は、コントラストの大きな画面などでも明暗両方が見やすくなる様に補正する機能です。画面中の暗い部分は明るくなる様に補正し、明るい部分は飽和しない様に補正します。機能設定ボタンを使用して、明るいエリアと暗いエリア間のコントラストに応じてサブメニューでSSDRレベルを変更します。



SSDR オン



SSDR オフ

カメラの操作

- WDR: 室内と屋外を同時に撮影する時の様に、明るさに大きな差がある場合に使用します。



<WDR>

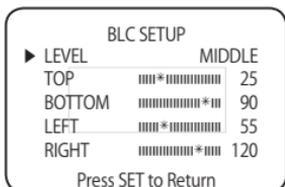


<オフ>

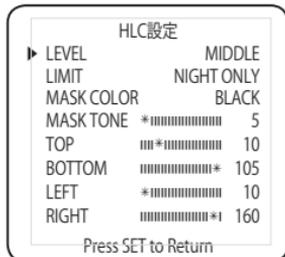
- LIMIT: LOW、MIDDLE、またはHIGHを選択して、WDR感度を調整します。
- LEVEL: バーを1～10の間で制御してWDR輝度を調整します。
- MODE: 室内および屋外の逆光の状態が適切に選択されます。
- ANTI ROLLING: 蛍光灯の周囲で生じるローリング現象を改善します。

3. 機能設定ボタンを使用して目的のモードを選択します。

- BLC: 強調するエリアを調整してから、レベルを調整します。



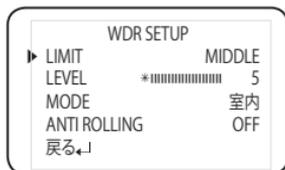
- HLC: レベル、制限、マスクの色/色調およびエリアを変更できます。



- SDDR: レベルを変更できます。



- WDR: 制限、アンチカラーローリング、およびレベルを変更できます。



-  ■ 画面内のハイライト面積がある程度大きくならないとHLCの機能が動作しませんので、最適な設置位置と角度とを見出ししてください。
- NIGHT ONLYモードでは、明るい光が特定のサイズを超えないとHLCは動作しません。
 - WDR機能を使用すると、DCおよびVideoレンズの場合はシャッターモードを固定またはA.FLKのいずれかに選択できます。A手動レンズの場合、シャッターモードはESCのみ選択できます。
 - WDR機能の性能は、画面内の明るい部分のエリアによって左右される可能性があるため、設置角度を最適に保ってWDRの性能を十分に引き出してください。
 - LIMITを増やすと、画面の表示がひずむことがあります。
 - VPS（仮想プログレッシブスキャン）機能を使用すると、CCDの読取りが異なるためWDRを同時に使用できなくなります。VPSをONに設定すると、WDRは自動的にFIXEDモードに設定されます。
 - WDRから最適な性能を引き出すには、手動レンズではなくDCレンズの使用をお勧めします
 - HLC（ハイライトの補正）を有効にすると、D-ZOOM（デジタルズーム）機能とDIS（デジタル手ブレ補正）機能が無効になります（“---”に設定）。

カメラの操作

SSNR3

この機能は、Night-Modelにおける暗い画面の時、バックグラウンドノイズを軽減します。

1. SETUPメニュー画面を表示し、機能設定ボタンを使用して'SSNR3'を選択し、矢印が'SSNR3'を指すようにします。
2. 機能設定ボタンを使用して希望のモードを選択します。
 - ON:SSNR3を有効にしてノイズを減らします。
 - OFF:SSNR3を無効にします。ノイズは減りません。
3. SSNR3モードを'ON'に設定して、機能設定ボタンを押します。その後、ノイズリダクションレベルを調整できます。

MAIN SETUP	
1.レンズ	DC◀
2.露出補正設定◀	
3.WHITE BAL	ATW
4.逆光補正	OFF
▶ 5.SSNR3	ON◀
6.DAY/NIGHT	AUTO◀



- '露出補正'メニューのAGCモードを'OFF'にすると、SSNR3を'ON'または'OFF'に設定することはできません。
- ノイズリダクションレベルをSSNR3モードで調整する場合、レベルを高く設定するほど、ノイズレベルが下がり、残像が発生します。

DAY/NIGHT

昼夜の条件に合わせて、カラーと白黒を切替る機能を設定します。

1. SETUPメニュー画面を表示し機能設定ボタンを使用して'DAY/NIGHT'を選択し、矢印がDAY/NIGHTを指すようにします。
2. 目的の画像表示に応じて、機能設定ボタンを使用して目的のモードを選択します。

MAIN SETUP	
1.レンズ	DC◀
2.露出補正設定◀	
3.WHITE BAL	ATW
4.逆光補正	OFF
5.SSNR3	ON◀
▶ 6.DAY/NIGHT	AUTO◀
7.PROFILE	BASIC

- **AUTO**: このモードは通常的环境下では'Color'に切り替えられますが、周囲の照度が低い場合は、'B/W'モードに切り替えます。AUTOモードに関する切替時間を設定するには、機能設定ボタンを押します。B/Wモードのバースト信号をオンまたはオフに設定できます。
- **DURATION**: DAY/NIGHTの切替ポイントを選択できます。
- **DWELL TIME**: 次の中から、DAY/NIGHTの遅延時間を選択できます。
→3s, 5s, 7s, 10s, 15s, 20s, 30s, 40, 60s

AUTO設定	
1. BUSRT MODE	ON
2. COLOR→B/W DURATION	FAST
DWELL TIME	3 SEC
3. B/W→COLOR DURATION	FAST
DWELL TIME	10 SEC
4. RETURN	

	Color → B/W	B/W → Color
FAST時	2.5 lux	5 lux
SLOW時	1 lux	7 lux

* カメラの昼/夜切替ポイントを調整できます。

- **EXTERN**: 接地端子に接続すると、COLORとB/Wを外部から切り替えることができます。
- **COLOR**: 画像は常にカラーで表示されます。
- **B/W**: 画像は常に白黒で表示されます。
B/Wモードのバースト信号をオンまたはオフに設定できます。



- ピデオの自動絞りレンズを使用している場合に、レンズレベルを低に設定した場合は、COLORとB/Wの間での自動的な切替えはできません。
- 露出補正メニューのAGCをOFFに設定した場合は、AUTOモードは選択できなくなります。
- 外部入力を使用する場合は、D & N入力ポートを接地端子に接続します。

カメラの操作

PROFILE

1. SETUPメニュー画面を表示し、機能設定ボタンを使用して'PROFILE'を選択し、矢印が'PROFILE'を指すようにします。

2. 使用目的表示に応じて、機能設定ボタンを使用して目的に応じたデフォルトの設定を指定できる機能です。

- **BASIC:**最も一般的な環境に合うように設定されています。
- **DAYNIGHT:** day/Nightで使用する目的に最適な設定を自動的に適用します。
- **逆光補正:**逆光補正機能を使用するのに最適な設定を自動的に適用します。
- **ITS:**道路交通監視目的に最適な設定を適用します。
- **室内:**屋内使用の目的に最適な設定を適用します。
- **USER:**上記の各設定に対して、設定の一部を変更した場合は、全てこのモード表示になります。
 - プロフィールユーザーモードでは、メニューをリセットしたときに初期化は行われません。

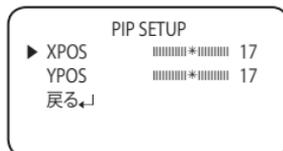
MAIN SETUP	
1.レンズ	DC←↓
2.露出補正設定←↓	
3.WHITE BAL	ATW
4.逆光補正	OFF
5.SSNR3	ON←↓
6.DAY/NIGHT	AUTO←↓
▶7.PROFILE	BASIC
8.SPECIAL←↓	

3. PROFILEメニューでは、下記の設定がそれぞれ切り替わります。

	BASIC	DAYNIGHT	逆光補正	ITS	室内	USER
SHUTTER	ESC	ESC	ESC	MANUAL(1/250)	A.FLK	-
GAIN	HIGH	HIGH	HIGH	HIGH	HIGH	-
WHITE BAL	ATW	ATW	ATW	室外	室内	-
逆光補正	OFF	OFF	USER BLC	OFF	OFF	-
SSNR3	ON	ON	ON	ON	ON	-
DAY/NIGHT	AUTO	AUTO	AUTO	AUTO	AUTO	-

カメラの操作

- VPS(Virtual Progressive Scan) : 従来は、DVRに高解像度モード(垂直解像度を480本)で録画した映像を、再生時に静止画として取り出そうとするとフィールド間の移動物体にブレが生じるインタレース方式特有の欠点を持っていました。これを解決する方式として仮想的なプログレッシブスキャン方式(30フィールド30フレーム)の録画を可能にします。但し、ライブ画像も30フィールド30フレームとなります。
 - OFF : Selects 2:1 撮像方式として、2:1 Interlaced Scanを選択します。
 - ON : 撮像方式として、Progressive Scanを選択します。
- REVERSE : 画像を反転できます。
 - OFF : 画像を反転しません。
 - H-REV : 画面上の画像を水平に反転することができます。
 - V-REV : 画面上の画像を垂直に反転することができます。
 - HV-REV : 画面上の画像を水平および垂直に反転することができます。
- PIP(ピクチャーインピクチャー) : フルサイズの画像とともにサムネイルを表示し、より詳細な情報を提供します。サムネイルの位置は調整可能です。
- D-ZOOM : x1~x16のデジタルズームを使用できます。
- FONT COLOR : OSDのフォントカラーを変更できます。(白、黄色、緑、赤、青)
- SHARPNESS : この値を大きくすると、画像の輪郭が強調され、明確になります。画像の鮮明度に応じて、この値を適切に調整します。
- 戻る : この項目を選択すると、IMAGE機能メニューに関する設定を保存し、SPECIALメニューに戻ります。



- V-REVまたはH-REVモードが有効になっているときは、画面上のテキストは反転されません。
- SHARPNESSのレベルを過度に高くした場合は、画像輪郭が強調されるに伴いノイズが大きくなります。

カメラの操作

- INTELLIGENCE: モーションを検知し、物体をトレースするようにカメラに指示します。

- MOTION: 検知するモーションのタイプを選択します。

- OFF: 使用しない。
- DETECTION: カメラは追加の外部センサーなしでモーションを検知するため、動作をより効率よく監視できます。

● TRACKING: 移動している物体を検知し、トレースするようにカメラに指示します。

▶ FENCE: フェンスは4つまで選択できます。

▶ MODE: Fenceで指定した領域を使用するかどうかを決定します。

▶ TYPE: 線型およびエリア型という2種類のフェンスが使用できます。

▶ COUNT: 物体がフェンスを何回越えたかを画面に表示します。

▶ FILL: Fenceを色で塗りつぶすか、色を削除します。

▶ POSITION: 線型またはエリア型のフェンスの位置と検知方向を定義します。

1) LINE FENCE

- SEL POS: POS1、POS2から位置を選択します。

- X POS / Y POS: 選択した線型のフェンスのサイズと位置を調整します。

- DIRECTION

・ DIR1: フェンスの線の左から右へ移動する物体を検知します。

・ DIR2: フェンスの線の右から左へ移動する物体を検知します。

・ DIR1/2: フェンスの線を横切って移動するすべての物体を検知します。

- 戻る: この項目を選択すると、POSITIONメニューに関する設定を保存し、TRACKINGメニューに戻ります。

INTELLIGENCE	
1. MOTION	OFF
2. DETECT BOX	ON
3. ALARM OUT	OFF
4. DETECT AREA	
5. MASK AREA	
6. SENSITIVITY	■■■■■■■■■■ 3
7. DETECT SIZE	■■■■■■■■■■ 3
8. 戻る	

TRACKING	
▶ 1. FENCE	FENCE1
2. MODE	OFF
3. TYPE	LINE
4. COUNT	OFF
5. FILL	OFF
6. POSITION	OFF
7. 戻る	◀

2) AREA FENCE

- SEL POS: POS1～POS4から位置を選択します。

- 選択したエリア型のフェンスのサイズと位置を調整します。

- DIRECTION

・IN: エリア型のフェンス内に進入する物体を検知します。

・OUT: エリア型のフェンスから脱出する物体を検知します。

・IN/OUT: エリア型のフェンス内に進入および脱出するすべての物体を検知します。

- 戻る: の項目を選択すると、POSITIONメニューに関する設定を保存し、TRACKINGメニューに戻ります。

▶ 戻る: この項目を選択すると、TRACKINGメニューに関する設定を保存し、INTELLIGENCEメニューに戻ります。

LINE FENCE	
▶ 1.SEL POS	POS1
2.X POS	■■■■*■■■■■■■■■■ 12
3.Y POS	*■■■■■■■■■■ 1
4.DIRECTION	DIR1
5.戻る◀	

AREA FENCE	
▶ 1.SEL POS	POS1
2.X POS	■■■■*■■■■■■■■■■ 12
3.Y POS	*■■■■■■■■■■ 1
4.DIRECTION	IN
5.戻る◀	

- ・ FIXED/MOVED: 画面内の検知エリアへの出入りや滞留などの検知を行います。
- FIXED / MOVED検知までの時間: 10～15秒



■ 検知 (FIXED/MOVED) エラーは次の場合に発生します。

- 継続して、ランダムな方向に複数の動きがある場合
- 固定された物体が一方方向に継続的に動く場合
- 2つ目の物体が1つ目の動く物体にかぶる場合

- DETECT BOX: 検出した物体を、画面上にボックスで囲んで表示します。

- ALARM OUT: モーション検出した事を外部に伝達する機能で、カメラの背面にあるMD出力ポートから信号をリリースします。

カメラの操作

- DETECT AREA:
モーションの検知とトラッキングは、この定義されたエリアの中でのみ実施されます。(工場出荷時は全画面が定義されています)。

DETECT AREA		
▶ 1.TOP	*	1
2.BOTTOM	*	50
3.LEFT	*	1
4.RIGHT	*	50
5.戻る←↓		



- このエリアが定義されていない場合は、検知とトラッキングのどちらも実施されません。

- MASK AREA: マスク対象の検知例外エリアを指定します。
マスクエリア番号を選択し、サイズと位置を指定します。

- ▶ AREA: エリアは4つまで選択できます。
- ▶ MODE: AREAで選択されたエリアを使用するかどうかを決定します。

▶ TOP / BOTTOM / LEFT / RIGHT: 選択したエリアのサイズと位置を調整します。

▶ 戻る: この項目を選択すると、MASK AREAメニューに関する設定を保存し、INTELLIGENCEメニューに戻ります。

MASK AREA		
▶ 1.AREA	AREA1	
2.MODE	OFF	
3.TOP	*	30
4.BOTTOM	*	110
5.LEFT	*	25
6.RIGHT	*	110
7.戻る←↓		

- SENSITIVITY: モーション検知の感度を設定します。数値を小さくする程、感度が高くなります。
- DETECT SIZE: 画面上で検知する物体のサイズを選択します。数値を大きくすると、検出サイズは大きくなります。
- 戻る: この項目を選択すると、INTELLIGENCEメニューに関する設定を保存し、SPECIALメニューに戻ります。
- PRIVACY: 画面上で非表示にするエリアをマスクします。
 - 1) SPECIALメニュー画面が表示されているときに、上下ボタンを使用し、矢印がPRIVACYを指すようにします。
 - 2) 4つの方向ボタンを使用してモードを設定します。

- AREA: PRIVACYエリアは12個まで選択できます。
- MODE: AREAで選択されたエリアを使用するかどうかを決定します。
- MASK COLOR: エリアカラーを決定します。緑、赤、青、白、灰色を選択できます。
- TRANSPARENCY: マスクエリアの透明度を増加または減少させます。
- SEL POS/ XPOS/ YPOS: 選択したエリアのサイズと位置を調整します。
- 戻る: この項目を選択すると、PRIVACYメニューに関する設定を保存し、SPECIALメニューに戻ります。

- DIS (デジタル揺すれ補正機能):
この機能は、風のような外的要因に起因する画像のあらゆる揺れを緩和します。



- DIS機能は、デジタルズーム機能を使用するため、カメラの解像度が若干低下します。
- 背景の照度が低すぎる場合は、DISは機能しません。
- 物体のパターンが空や白い壁のように単調な場合はDISは機能しません。

- COMM ADJ (Communication Adjustment):
外部の制御デバイスを使用してカメラを制御している場合は、この機能はカメラの通信状態を設定します。

1) SPECIALメニュー画面が表示されているときに、機能設定ボタンを使用し、矢印がCOMM ADJを指すようにします。

2) 機能設定ボタンを使用してモードを設定します。

- CAM ID: カメラの識別番号を決定します (0~255)。

- BAUD RATE: 2400/4800/9600/19200/
38400/57600 bpsを選択できます。

- UART MODE: パリティビットとして、NONE、EVEN、またはODDを選択できます。

- RET PKT: カメラに通信制御コマンドを送信した後、コントローラデバイスにコマンドを送り返すかどうかを決定します。

COMM SETUP

```

▶ 1.CAM ID      *■■■■■■■■■■ 1
  2.BAUD RATE   9600
  3.UART MODE   8-N-1
  4.RET PKT     ENABLE
  5.DISP ID     OFF
  6.PROTOCOL    SAMSUNG-T
  7.戻る◀

```

カメラの操作

- DISP ID : 画面の左上隅にカメラタイトルを表示します。
- PROTOCOL : 通信プロトコルを選択します。
(SAMSUNG-T, SAMSUNG-E, PELCO-D, PELCO-P, BOSCH, HONEYWELL, VICON, PANASONIC, GE, および AD)
- 戻る : この項目を選択すると、PRIVACYメニューに関する設定を保存し、SPECIALメニューに戻ります。

* 通信調整の初期値

項目	カメラID	ボーレート	UART モード	RET PKT
初期値	1	9600	8-NONE-1	有効

- LANGUAGE : 要に応じて、メニューの言語を選択できます。
- 戻る : この項目を選択すると、SPECIALメニューに関する設定を保存し、MAIN SETUPメニューに戻ります。

終了

カメラの目的に応じて、機能設定ボタンを使用して目的のEXITモードを選択します。

- SAVE : 現在の設定を保存し、MAIN SETUPメニューを終了します。
- NOT SAVE : 現在の設定を保存せずに、MAIN SETUPメニューを終了します。
- RESET : カメラの設定を工場出荷時の値にリセットします。Communication、LanguageおよびMonitorの設定は初期化されません。

トラブルシューティング

トラブルシューティング

カメラの動作に問題がある場合は、次の表を参照してください。

ガイドラインに従っても問題が解決しない場合は、認定技術者にお問い合わせください。

問題	トラブルシューティング
画面に何も映らない。	<ul style="list-style-type: none">▶ カメラからの同軸ケーブルが、カメラコントローラのV P端子側に接続されている事を確認してください。V P端子側には、常時DC27Vの電源が印加しています。▶ カメラコントローラのAC100V電源が正しく接続されている事を確認してください。▶ カメラコントローラの電源を切った後で、同軸ケーブルが断線していないかテスターで確認してください。▶ レンズのタイプを確認してください。
画面に表示される画像が薄暗い。	<ul style="list-style-type: none">▶ レンズがほこりで汚れていますか。柔らかく清潔な布でレンズを掃除してください。▶ モニターまたはDVRを正しい状態に設定してください。▶ カメラが非常に強い光にさらされている場合は、カメラの位置を変更してください。
画面に表示される画像が暗い。	<ul style="list-style-type: none">▶ モニターまたはDVRのコントラスト機能を調整してください。▶ 中間デバイスを使用している場合は、75Ω / Hi-z (ハイインピーダンス) を正しく設定します。
DAY/NIGHTメニューが機能しない。	<ul style="list-style-type: none">▶ EXPOSURE SETUPメニューのAGCが'OFF'になっていることを確認してください。
感度アップメニューが機能しない。	<ul style="list-style-type: none">▶ EXPOSURE SETUPメニューのAGCが'OFF'になっていることを確認してください。▶ EXPOSURE SETUPのSHUTTERが'A.FLK'または'MANUAL'になっていることを確認してください。
インテリジェンス機能が動作しない。	<ul style="list-style-type: none">▶ メニューのINTELLIGENCEが'OFF'になっていることを確認してください。

トラブルシューティング

問題	トラブルシューティング
色が正しくない。	▶ WHITE BAL SETUPメニューの設定を確認してください。
画面が継続的にちらつく。	▶ カメラが太陽を向いていないことを確認してください。
映像の解像度が落ちて、ぼやけて見える。反対に、不自然にガラガラして見える。	<ul style="list-style-type: none">▶ 同軸ケーブルが長すぎて、ケーブル補償が効かない状態になっている可能性があります。▶ カメラコントローラ背面のケーブル補償スイッチが、適正に成っていない可能性があります。▶ ケーブル補償が過補償になっている可能性があります。

仕様

仕様

SCB-3000VPN	
ビデオ	
撮像素子	1/3インチ、410Kピクセルの倍密度カラーCCD
合計画素数	811(H) x 508(V)
有効画素数	768(H) x 494(V)
走査システム	2:1インタレース/プログレッシブ
走査システム	内部/外部
発信周期	H: 15.734KHz V: 59.94Hz
水平解像度	カラー: 600TV本/白黒: 700 TV本
最低照度	カラー: 0.3ルクス (50IRE, F1.2), 0.0006ルクス (感度アップS12x) 白黒: 0.01ルクス (50IRE, F1.2), 0.00002ルクス (感度アップS12x)
S/N比	52dB (AGCオフ, 重み付き)
ビデオ出力	CVBS: 1.0Vp-p, 75Ω、コンポジット
レンズタイプ	
レンズタイプ	手動/自動絞り (ビデオ/DC)
マウントタイプ	C/CS
操作関係	
画面表示	Multi-language Support 英語、韓国語、日本語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、台湾語
カメラタイトル	OFF/ON (15文字表示)
昼/夜	Auto(ICR) / External / Color / B/W
逆光補正	OFF/USER BLC/HLC/SSDR/WDR
WDR	52 dB
Contrast Enhancement	SSDR
デジタルノイズリダクション	SSNR III (OFF / ON)
デジタル揺すれ補正 (DIS)	OFF / ON

SCB-3000VPN	
モーション検知	内蔵
プライバシーマスク	OFF / ON (12のプログラム可能ゾーン)
感度アップ (フレームインテ グレーション)	2x ~ 512x
ゲイン調整	Off / Low / High
ホワイトバランス	ATW / 室外 / 室内 / Manual / AWC (1,700K° ~ 11,000K°)
電子シャッター速 度	1/60 ~ 1/120k 秒
デジタルズーム	Off / On (1x ~ 16x)
反転	Off / H-Rev / V-Rev / HV-Rev
プロファイル	Basic, Day & Night, 逆光補正, ITS, 室内, User
VPS	OFF / ON
インテリジェンス	Fixed_Moved, Area, Fence, Tracking, Detection, Counting
PIP	OFF / ON
Alarm	Alarm
RS-485通信	SAMSUNG-T, SAMSUNG-E, PELCO-D, PELCO-P, BOSCH, HONEYWELL, VICON, PANASONIC, GE, AD
環境関係	
動作温度/湿度	-10℃~+50℃/最大 ~90% RH 但し、結露を除く
ELECTRICAL	
入力電圧	専用カメラコントローラ (TBP-9LJ) による
消費電力	最大4.0W
メカニカル	
色/材質	ブラック, シルバー / アルミニウム, スチール
寸法 (WxHxD)	66 x 61 x 102mm
重量	310g

* 製品の改良のため、この製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

MEMO

MEMO

MEMO



販売ネットワーク

SAMSUNG TECHWIN CO., LTD.

Samsungtechwin R&D Center, 701, Sampyeong-dong, Bundang-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do, Korea, 463-400
TEL : +82-70-7147-8740~60, FAX : +82-31-8018-3745

SAMSUNG TECHWIN AMERICA Inc.

100 Challenger Rd. Suite 700 Ridgefield Park, NJ 07660
Toll Free : +1-877-213-1222 Direct : +1-201-325-6920
Fax : +1-201-373-0124
www.samsungcctvusa.com

SAMSUNG TECHWIN EUROPE LTD.

Samsung House, 1000 Hillswood Drive, Hillswood Business Park
Chertsey, Surrey, UNITED KINGDOM KT16 0PS
TEL : +44-1932-45-5300, FAX : +44-1932-45-5325

www.samsungtechwin.com
www.samsungsecurity.com

P/NO.: PT01-000093A